

1 取り付け位置を確認する

カメラの取り付け位置を決める

- 重要** 不安定な場所には設置しないでください。
- 重要** 強い光源の近くには設置しないでください。
- 重要** 強い電波を発信する製品のそばには設置しないでください。
- 重要** 煙気、煙がかかる位置には設置しないでください。

ケーブルの通り方を決める

ケーブルを天井や壁の中を通すときは、ケーブル用の穴(φ25 mm)をあける必要があります。(ねじ:最低引張強度(1本あたり) 196 N(20 kgf))

ケーブルの長さを決める

カメラ設置位置からPCまでの距離を確認し、必要な長さのEthernetケーブル(市販品)を準備します。

取り付け方を決める

■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ない場合は梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。(ねじ:最低引張強度(1本あたり) 196 N(20 kgf))

■三脚に取り付ける
一般的なカメラで三脚(市販品)に取り付けることもできます。

2 各部の名前

外部I/O端子の説明

ピン	機能
6	DC電源出力 ・電源出力電圧10.5 V〜13 V ・電源出力電流100 mA
5	GND
4	GND
3	外部I/O端子3 (ALARM IN3/AUX OUT)
2	外部I/O端子2 (ALARM IN2/ALARM OUT)
1	外部I/O端子1 (ALARM IN1)

初期化ボタンについて
本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒押し続けてください。本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。状態表示ランプの点滅(緑)が消灯したら、初期化終了です。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

重要
●初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

RESTARTボタンについて
電源が入っている状態で、RESTARTボタンを押してカメラを再起動することができます。先の長い棒状のもので、RESTARTボタンをゆっくりと約1秒押し続けてください。カメラがパン/チルトの初期動作を完了して再起動が完了です。

3 カメラを接続する

Ethernetケーブル(市販品)をカメラのLANジャックとPoE電源供給装置に接続する(PoE電源供給装置で給電する場合)

重要
●状態表示ランプが点滅しないときは、以下を参照してください。
→付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「故障かな?」
●PoE電源供給装置またはイーサネット送電アダプター(品番:BB-HPE2)の動作については、お使いの製品の取扱説明書を参照してください。

重要
●4対UTP/STPのEthernetケーブル(推奨ケーブル:Panasonic株式会社製工コLANケーブル4対CAT5E NR 13533シリーズ、最大長100 m)(2011年9月現在)を使用してください。
●PoE電源供給装置は必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。正常なデータ伝送、電力給電が行われない場合があります。
●当社がおすすめするPoE電源供給装置の情報は、サポートウェブサイト(<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)を参照してください。

DC12 V電源接続端子(専用ACアダプターを使用する場合)

専用ACアダプター(品番:WV-PS16 別売り)を接続します。
①電源用端子台(付属品)のねじをゆるめます。
②電源用端子台にカメラケーブルを接続します。ショートがないように、芯線をよくよじってください。
③外皮を切断した芯線が電源用端子台から露出する。確実に接続されていることを確認してください。
④ケーブル先のハンダ付け部分を除去してから、外皮を3 mm〜7 mmむき、より線を出させるよう加工して使用してください。
⑤電源用端子台のねじを締めます。(推奨締付トルク:0.34 N・m(3.5 kgf・cm))
⑥電源用端子台の後面のDC12 V電源ケーブル接続端子に接続します。

重要
●ACアダプターは専用ACアダプター(品番:WV-PS16 別売り)を使用してください。
●電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
●電源用端子台に出力ケーブルを接続するときは、極性を間違わないように注意してください。極性を間違えた場合、故障や誤動作につながる可能性があります。
●電源用端子台は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。

警告
●ACアダプター[®]、ACコード[®]をぬらさない(ACアダプター、ACコードは防水構造ではありません。) 発火・感電の原因になります。
①ぬらした場合は手を触れず、販売店へご相談ください。
※1:ACアダプター給電の場合のみ

外部I/O端子

外部機器を接続します。ケーブルの外皮を9 mm〜10 mmむきしろ、ショートなどがないように芯線をよくよじってから接続してください。
●線材仕様:22 AWG〜28 AWG 単線・より線

重要
●1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させて接続してください。
●外部I/O端子と外部I/O端子3は、入力端子/出力端子に切り換えることができます。外部I/O端子2、3(アラーム2、3)の設定(OFF/アラーム入力/アラーム出力またはAUX出力(外部出力))については「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM)内をお読みください。
●お買い上げ時、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。「OFF」設定時は入力設定と同様に外部機器を接続できます。
●外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

調整用モニター出力端子
φ3.5 mmのミニプラグ(モノラル)を接続します(出音確認を行う場合のみ)。
●推奨プラグ形状:L型

重要
●調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたもので、録画および監視目的には使用できません。
●嵌合の上・下左右に黒帯が見える場合があります(画角は変わらないため調整に支障はありません)。

マイク/ライン入力端子・オーディオ出力端子
カメラに外部マイクやスピーカー(いずれも市販品)を接続して、音声を受信・送話できます。外部マイク用のコードは、7 m以内の長さのものを使用してください。コードの長さ、マイクの特性によって音質が低下することがあります。

4 カメラを設定する

カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。

- 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする**
●使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みの上、「使用許諾契約の承認に同意します」を選択し、「OK」をクリックします。
●CDランチャーメニューが表示されます。
CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。
- IP簡単設定ソフトウェア【起動】をクリックする**
【IP簡単設定ソフトウェア】画面が表示され、カメラが見つかったとカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。
- 設定するカメラをクリック(1)して、【カメラ画面を開く】をクリック(2)する**
- 認証ダイアログが表示されるので、初期設定のユーザー名「admin」とパスワード「12345」を入力し、【OK】ボタンをクリックする**
カメラのライブ画面が表示されます。
●画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。画面の指示に従って、インストールしてください。
●カメラを使用する前に、「設定」の【基本】画面で「白付時刻」の設定を行ってください。

インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像が見られるように設定する

インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像を見る場合、ダイナミックDNSサービスを提供する「みえますねっとPRO」サービス(有料)をご利用をお勧めします。「みえますねっとPRO」サービスについては、ウェブサイト(<http://www.miepro.net>)または以下を参照してください。
●付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「みえますねっとPRO」サービスを参照してください。
サービスの詳細は、ウェブサイト(<http://www.miepro.net>)を参照してください。
UPnP[™]対応ルーターを使用すると、ルーターのポートフォーワード設定が自動で完了します。

- 【カメラ画像をPCで見られるように設定する】の手順4まで行い、【設定】ボタンをクリックする**
- 設定メニューの【基本】をクリック(1)して、「インターネット公開」タブ(2)をクリックする**
- 【自動ポートフォーワードリング】で【On】(3)、【みえますねっとPRO】で【On】(4)を選択して、【設定】(5)をクリックする**

カメラの【メンテナンス】の【ステータス】画面の【UPnP】で状況を確認することができます。
●設定に失敗したときは、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編の「故障かな?」を参照してください。

【自動ポートフォーワードリングの設定が完了しました。】の画面が表示されたら、「みえますねっとPROサービス登録画面」をクリックする

重要
●登録したカメラのURLが有効になるまでに、最大で30分かかる場合があります。
●カメラの【メンテナンス】の【ステータス】画面の【みえますねっとPRO】で登録状況を確認することができます。
●カメラURLに「みえますねっとPRO」サービスで登録したURLが表示されていない場合は、カメラを再起動してください。
●登録に失敗したときは、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「故障かな?」を参照してください。

- 【みえますねっとPRO】サービスの登録画面の案内に従って、登録を完了する**
詳細は「みえますねっとPRO」のウェブサイトを参照してください。
5-1 「みえますねっとPRO」サービスの登録が完了したら、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト(<http://www.miepro.net>)の「モニターリング」にサムネイル表示されるカメラをクリックする
→カメラのライブ画面が表示されます。

インターネット経由でアクセスできることを確認する

カメラと別のネットワークにつながっているPCや携帯電話または携帯端末で、【メンテナンス】メニューの【ステータス】タブの【みえますねっとPRO】に表示されるカメラのURLでアクセスできることを確認してください。
●インターネットにつながっている別のネットワークのPCで確認する
インターネットで使用: http://***.***.***.***:***
●携帯電話で確認する
携帯電話で使用: http://***.***.***.***:***:***
●携帯端末(スマートフォン)で確認する
携帯端末で使用: http://***.***.***.***:***:***
●カメラのライブ画面が表示されないときは、以下を参照してください。
⇒付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「故障かな?」
●カメラへのアクセスを符号化する(HTTPS機能)により、通信の安全性を高めることができます。
⇒付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編:「HTTPSでカメラにアクセスする」

以上の操作で、インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像を見るためのセットアップは終了です。

外部I/O端子

外部機器を接続します。ケーブルの外皮を9 mm〜10 mmむきしろ、ショートなどがないように芯線をよくよじってから接続してください。
●線材仕様:22 AWG〜28 AWG 単線・より線

調整用モニター出力端子

φ3.5 mmのミニプラグ(モノラル)を接続します(出音確認を行う場合のみ)。
●推奨プラグ形状:L型

重要

●調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたもので、録画および監視目的には使用できません。
●嵌合の上・下左右に黒帯が見える場合があります(画角は変わらないため調整に支障はありません)。

SDメモリーカードを取り付ける

- 本体側面のカバーを開ける
- SDメモリーカードのラベル面を本体の背面側にして差し込み、指でカードと音がするまでSDメモリーカードを押し

メモ
●カメラの状態表示ランプが赤になったら、SDメモリーカードを取り外し、カードが書き込み禁止になっていないか確認してください。書き込み禁止になっていない状態で状態表示ランプが赤のままの場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。

5 カメラを設置する

- ケーブルをスタンド(付属品)の穴に通して、取り外した切り欠き部分に通す**

メモ
切り欠き部分を取りはずさないで、市販のPF管などで防水処理したケーブル類を固定するときは、市販のテープなどでスタンドの軸に巻きつけてください。その場合は、手順②へ進んでください。

- ケーブル類をコネクタカバー(付属品)に通して接続し、ねじA(付属品)でコネクタカバーを取り付ける(コネクタカバーの推奨締付トルク:0.6 N・m(6.1 kgf・cm))**
I/Oコネクタやスピーカー、マイクを使うときは、そのケーブルもコネクタカバーに通して接続してください。

重要
●屋外のLANケーブルの配線は、できる限り短くしてください。本製品および本製品を接続するケーブルなどに雷などの影響を受けかねません。
●カメラを設置するときは、外部スピーカー/外部センサー/マイク/ビデオのケーブルは、フックにかけて配線を整理してください。

- カメラにねじAで日よけハウジング(付属品)を取り付ける(日よけハウジングの推奨締付トルク:0.6 N・m(6.1 kgf・cm))**

日よけハウジングを取り付ける前に、カメラ側面のカバーが確実に取り付けられていることを確認してください。

- 防水スポンジ(付属品)でケーブルを巻き、コネクタカバーの出口から防水スポンジが約10 mm出るようまで押し込む**

メモ
屋外で使用するときは、防水スポンジを必ず使用してください。防水スポンジを使用しない場合、雨などが隙間から内部へ浸透し、本体が故障することがあります。

- 自己融着テープ(付属品)でコネクタカバーの出口から約20 cmの長さまでケーブルを巻く**
防水スポンジの部分は特にしっかりと(3〜4回)巻いてください。ケーブルを巻くときは、テープを2倍の長さまで引き伸ばして、重ねて巻いてください。三脚に取り付けるときは、三脚の高さに合わせて適当な長さまでケーブルを巻いてください。

- スタンドの底を天井または壁にあって、スタンドを固定する場所を決める**
カメラの自重で落ちることのないよう、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ない場合は梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。(ねじ:最低引張強度(1本あたり) 196 N(20 kgf))
- カメラにねじAとワッシャー小(付属品)で落下防止ワイヤー(付属品)を取り付ける(推奨締付トルク:0.6 N・m(6.1 kgf・cm))**
- 締め付けナットをゆるめて、スタンド取り付けねじでカメラを取り付ける**

実際にPO画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

天井または壁に取り付ける

実際にPO画面に表示された画像を確認しながら、カメラの適切な設置場所・向きを調整してください。

- スタンドの底を天井または壁にあって、スタンドを固定する場所を決める**
カメラの自重で落ちることのないよう、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ない場合は梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。(ねじ:最低引張強度(1本あたり) 196 N(20 kgf))

- カメラにねじAとワッシャー小(付属品)で落下防止ワイヤー(付属品)を取り付ける(推奨締付トルク:0.6 N・m(6.1 kgf・cm))**
- 締め付けナットをゆるめて、スタンド取り付けねじでカメラを取り付ける**

- 落下防止ワイヤーの長さをたるみのない状態に調節し、ねじBとワッシャー大(付属品)で天井または壁に取り付ける(推奨締付トルク:1.96 N(20 kgf))**

調整用モニター出力端子

●ケーブルに自己融着テープが巻かれている部分がスタンドの外に出ていて、PF管など(市販品)の中に入っていることを確認してください。

重要
●調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたもので、録画および監視目的には使用できません。
●嵌合の上・下左右に黒帯が見える場合があります(画角は変わらないため調整に支障はありません)。